

蜘蛛（クモ）は益虫

クモと聞いただけで気持ち悪いという先入観があるが、ハエやカなどの害虫を駆除してくれる頼もしい味方なのです。しかし、あの形や動きと蜘蛛の巣を張ることで嫌われているのでしょうか。中には蜘蛛の巣を張らない仲間も多くいます。今回は花や葉の上で見かけたカニグモの仲間とハエトリグモの仲間を挙げてみたいと思います。

—カニグモの仲間—

カニのポーズが似ているところからつけられたみたいですが、他のクモもよく似たポーズをとる種類があるので見た目では何の仲間かわからないことが多いです。

▼アズチグモ



左は福田社協発行の広報紙65号に掲載したクモです→当プログラムのトップ画面「広報ふくだ社協→広報紙65号」をクリックしてみてください。左の顔に見えるところは腹部で、右は角度の違う写真で仮面をつけたように見えるこの場所は頭胸部と呼ばれるところです。

▼ヤミイロカニグモグモ



こちらは色、形ともなんとなくカニに似ています。

▼ハナグモ



▼コハナグモ



名の通り花の上でよく見かけます。腹部の模様がいろいろあり、よくみないと間違いやすいです。どちらもメスですがオスは色が濃く茶系統が多く感じ、まるで別の種類に見えたりします。

▼ワカバグモ



オス



メス

葉の上で獲物が来るのをじっと待ち受けている姿をよくみかけます。クモの仲間はオスがメスより小さく、中には何十倍も違う種類（ジョロウグモなど）があります。

—ハエトリグモの仲間—

名が示す通り、ハエなどを主食とする益虫ですが、中には植物やアリなどを食べる種類もいるみたいです。

▼アオオビハエトリ



こちらは私が一番好きなクモで、青い帯が印象的です。アリを主食にしているそうです。

▼ヨダンハエトリ



赤と黒のコントラストがきれいなクモです。

▼マミジロハエトリ



こちらは地味ですがどことなくかわいらしいです。

▼アリゲモ



前足がアリの触覚にみえ名前そのものです。また、動きもアリにそっくりでいろいろな場所でよく目につきます。

赤木通信員